

日本動物学会中部支部大会 最優秀発表賞受賞 報告

◇期日:12月4日(土)

◇場所:本校探究ゼミ室

◇参加者:SS生物部員 12名

◇指導者:SS生物部顧問 真野先生

日本動物学会中部支部大会は、中部地方の高校や大学を対象とした、動物学に関する研究成果を発表する場である。今年度は新型コロナウイルスの影響で、オンライン開催となった。

本校からは5つの班がそれぞれ「共生ハゼとテッポウエビ類の共生関係について part2」、「いたち川における環境DNAを用いたトミヨの生息調査」、「ドクターフィッシュの食について」、「カメの学習能力について」、「米ぬかはバイオエタノールの材料になりうるか」、という題で研究発表を行った。聞き手の姿が見えない分、不安はあったが、普段以上に声の大きさや話すスピードを意識し、良い発表をすることができた。また、オンライン開催のため多少のトラブルは起こったが、事前に収録した動画で対応することができた。質疑応答では、即座に相手の質問を理解し、的確に答えるのが難しかった。教授からのアドバイスや他校生からの質問は、今後の研究の参考になった。



他校の発表も聞くことができ、同じ生物分野の中でも、自分たちのものとは大きく異なるテーマの研究に興味を引かれ、気になったことを積極的に質問していた。

高校生部門の表彰では、米ぬかの研究が最優秀発表賞を、残りの4班が優秀発表賞を受賞することができた。短期間で発表の準備をするのは大変で、慣れないオンライン開催だったが、5班とも表彰されたのでよかったと思う。今大会で得たものを、今後の研究・発表に生かしていこうと思う。

(SS生物部 藤井 記)